

開催日時：令和4年8月2日（水）～9日（火）

開催方法：書面開催

1 実施方法

各委員から提出された評価及び意見等を会長がとりまとめ、会議としての評価結果とした。

2 評価結果

(1) 第2期 日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

おおむね順調に進捗していると評価された。

(2) 令和3年度地方創生関係交付金に係る事業の評価について

評価対象となった、全6事業について、「地方創生に有効であった」と評価された。

3 主な意見等

(1) 第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

ア 日立市の最大の課題は人口減少であると考え。総合戦略に掲げた各施策の真の成果はすぐに現れるものではないので、基本方針をもとに、ブレることなく継続してほしい。

イ 市内従業者数が期待値を上回ったことは評価できる。地元企業が元気になることで、新たな雇用が生まれ、定住にもつながることから、引き続き、事業者支援施策を行っていくことが大事である。

ウ 「市内の高校卒業生の市内就業率」が前年度を下回っていることから、インターンシップなどによる企業の魅力発信を通じて、若者の地元企業への就業促進を関係機関と連携して実施してほしい。

エ 市内の高校でも定員割れが発生しており、10代をはじめとする若年層にとって魅力的な、若者を引き付けるまちづくりが一層重要となってくる。

オ 人口減少対策や、県外からの人の流入を増加させるためには、支援制度が対象となる人だけに知ってもらうのではなく、将来、対象となる人にも広めていくことが必要になる。

そのためには、大学生から30代くらいの方と協力すると、更なる効果が見られる。

カ 成人～20代前半といった若い世代の中には、各種イベント等に参加しづらいと感じている人もいる。

キ 新型コロナウイルス感染症の影響により、期待値を達成できなかった指標もある一方、感染症の影響に関わらず達成度がBに下落した指標については、問題点の抽出が必要である。

また、前年度に引き続き、達成度がBであった指標については、これまでと違った視点で取組を進めなければならない。

ク 働き方改革が進まなければ日立市に住みたいと思われないので、改善が必要である。

ケ 放課後子ども教室の実施箇所を増やしてほしい。

コ 児童、生徒が市に対する愛着を持つためには、東京などの他の地域を見ることがだいじである。そのうえで、市の魅力を存分に体感してほしい。

サ 交通インフラの整備は、引っ越しの理由にもなるので

シ 防犯のためにも街路灯などの整備を行ってほしい。

会長の意見

ア 将来の日立市を担うことになる小学校・中学校のアンケートも重要である。

イ 日立市がいい街だと思っけていても、仕事の影響で転居しなければならないといった人もいる。居住につながる取組は、難しい。

(2) 令和3年度地方創生関連交付金に係る事業の評価について

ア つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト

(ア) 継続して情報発信をお願いする。

(イ) 移住関連や街活性化のためのイベントや就職活動関連の説明会により、実際に学生としても情報はよく入ってきていた。

(ウ) 首都圏以外の他県でのプロモーション活動を拡大していただきたい。(農業関係者も呼び込む取組み等)

(エ) コロナ禍を背景に、東京圏を狙った移住施策は全国的な都市間競争の様相を呈しており、「人を呼び込む」には忍耐強く長期的なスパンで施策の継続が必要と考える。

(オ) 東京圏でのプロモーションが非常に重要と思われることから、日立市の魅力発信を東京圏で注力してもらいたい。

イ いばらきサイクルツーリズム推進強化事業

(ア) 脱炭素、健康促進などSDGsにも繋がる。日立バイパスも自転車コースが出来ると良い。

(イ) 日立市の海は魅力があるが、全体的に坂道が多いため、サイクリングにはあまり向いていない地域と感じる。なるべく平坦な道をPRするなど、コース(道)の整備なども拡充する必要があるのではと感じる。

(ウ) 海沿いの国道245号は眺望に優れているが、大型車両を含め交通量が多く自転車の安全走行には不向きと考える。市内周遊ルートの方定は自転車ショップ等の意見をよく聴取して進めるのが望ましい。

(エ) 地方創生には有効であるが、情報発信が若干不足しているような気がする。

ウ 若者かがやき事業

(ア) 若い力、発想は大切である。

(イ) 引続き、若者の意見を取り入れた市政運営をお願いする。

(ウ) 「若者かがやき会議」は非常に有望な取組み。事業の2年目に期待したい。

(エ) 若者が活躍できるまちづくりは、地方創生に非常に有効であり、引き続き事業を継続してもらいたい。

エ わくわく茨城生活実現事業

(ア) テレワークの普及によりもう少し期待したい。

(イ) PR方法の拡充をお願いする。

(ウ) 要件緩和で事実上、緒に就いたばかりの事業と思われる。市の移住関連施策と連携し、もっと多くの移住者獲得実績を期待したい。

(エ) 各自治体が取組んでいる項目であることから、日立市の魅力発信が重要と考える。

オ 日立駅前再活性化事業

(ア) Hiタッチランド・ハレコレの評判は良いが、食事をとれる施設がほしいとの声もある。今後の方針にもあるが是非科学館との連携をしてほしい。

- (イ) 私の大学生の友人も、多くがハレニコでアルバイトをしており、利用者も多くいると聞いている。
 - (ウ) 店舗誘致をお願いします。
 - (エ) 旧イトーヨーカドー日立店の跡地活用および周辺モール街の活性化が、本事業の今後の成否を占う重要な鍵である。
 - (オ) 今後も継続してほしい。
 - (カ) 駅前には科学館があり、科学館との連携を今以上に強めることで更なる活性化が図れると思う。
- カ ひたちの科学を軸としたまちの賑わい創出事業
- (ア) 素晴らしい施設なので、是非、面白い発信を。
 - (イ) 市内、市外を問わず小中学生の研修コースに取り入れ、子どもたちが科学に触れる機会の創出をお願いします。市外への PR をお願いします。(神峰動物園とセットでの遠足など)
 - (ウ) 科学館（サクリエ）は大変素晴らしい。改装がコロナ禍と重複し不運だった。改めてリニューアルを市内外に広く PR し、駅前誘客の核になってほしい施設である。
 - (エ) 他自治体にはあまり見られない施設であることから、PR をもっと行ってほしい。

以 上